

将来に向けて みんなが大切にするこ

~これからのまちづくりを進める上で求められる考え方~

人口減少・少子高齢社会への変化をはじめ、急速に変化する社会情勢を的確にとらえ、次のことをみんなで共有し、大切にしながらこれからのまちづくりを進めていきます。

1 定住人口の維持に加え、 交流人口・関係人口を大切にしまちに關わる人を増やす

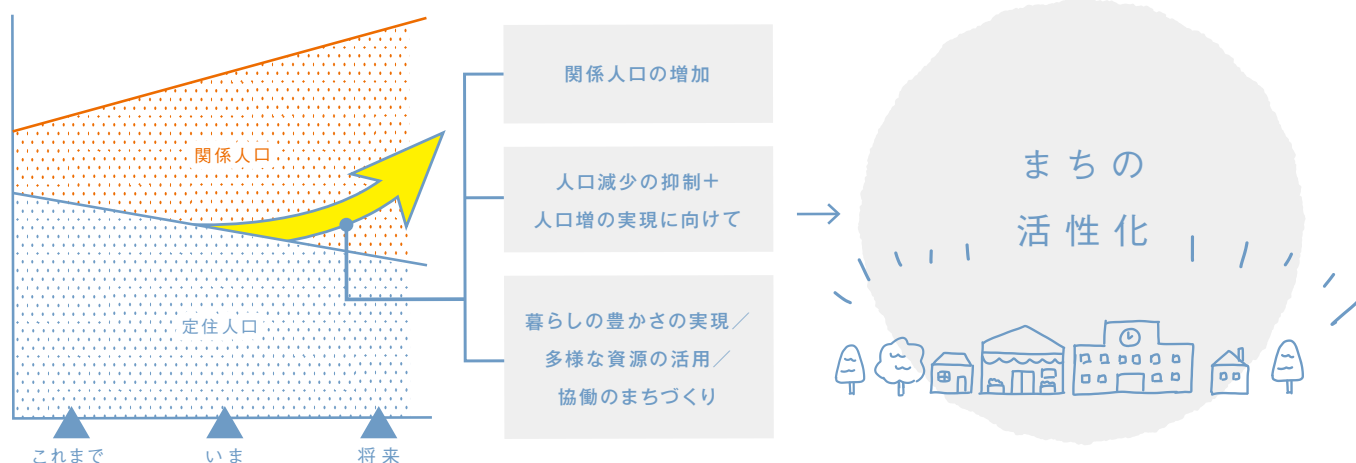
毎年、全国各地からたくさんの方が豊富温泉へ湯治療養に訪れています。また、多くの人を魅了するサロベツ湿原にも町外からたくさんの方にお越しいただいています。これは、私たちのまちの特徴の一つです。

実際に、近年では豊富温泉への湯治をきっかけとして、まちに移住する人や定住する人も少しずつ増えてきている状況です。

地域資源を通して本町とつながりのある人が全国にいるということは、今後、新たな人の流れをつくることにつながり、移住促進などの施策展開に大きな強みとなります。

また、町外からさまざまな人がまちに集まるということは、多くのファンやサポーターが全国にいるということもでき、今後ますます多様な交流が生まれ、まちの活性化につながり、移住・定住による人口増加も期待できる可能性を秘めているということです。

そのため、これからの本町のまちづくりでは、定住人口*の維持、さらには増やすことも視野に入れ、国内外との交流人口*・関係人口*を増やしていくことを進め、まちの活性化を目指します。



2 人口減少・少子高齢化に伴うさまざまな課題に対応する

一方で、1953年をピークに本町の人口は急速に減少が進んでいることは事実であり、人口減少と少子高齢化はこれからもますます進むことが予測されています。

人口はまちを維持するための自治体運営における基礎であり、人口減少は私たちの暮らしや地域のさまざまな分野へ影響を及ぼすことから、これからのまちづくりの最重要課題として位置づけられます。

そのため、自然減・社会減の両面による人口減少の緩和に向けた取組を各分野において進めるとともに、人口減少下におけるさまざまな課題へ対応します。

3 豊富町に暮らす人だれもが、豊かな暮らしを分け隔てなく享受できる

現在、本町には子どもから高齢者まで、4,000人弱の町民が暮らしています。

これからの時代は、全国的な傾向と同様に、本町においても人口は減少傾向となり、ますます高齢化が進んでいくことが予測されています。

急速に変化する社会情勢の中であっても、将来にわたって本町に暮らす人だれもが豊かな暮らしを分け隔てなく享受できる社会を構築することは、まちづくりにおける基本的な目標になります。

4 まち特有の資源やポテンシャルを最大限活かし、豊富町ならではの価値を創造する

本町には、町民だれもが自慢する酪農・豊富温泉・サロベツ湿原の三大資源をはじめ、さまざまな資源が無数にあります。特に、世界にも珍しい油分を含んだ豊富温泉は、湯治客の聖地となっており、本町にしかない特有の資源となっています。

また、ラムサール条約*に登録され、国立公園にもなっているサロベツ湿原は、雄大な風景とともに希少な動植物が生態系をつくっており、世界中から人を呼び込むことができる誇るべき優れた環境となっています。

このような資源やポテンシャルをさらに磨きあげ、活用しながら本町ならではの価値や魅力を創造していくことが必要となります。

5 協働・共生のまちづくりを進める

社会情勢の変化により私たちの生活や価値観は変わり、そのニーズも多様化、高度化しています。これからのまちづくりでは、町民や企業、団体、行政などの地域の多様な担い手が連携しながら協働で進めていくことが大切です。

また、全国から湯治客が多く訪れることは本町の特徴の一つであり、町内外のつながりや交流を生み出しています。価値観の多様化が進む中で、ともに認め合い、ともに支え合う協働・共生のまちづくりが重要となります。

6 できることから小さなアクションを見える化する

まちのさまざまな課題に対して、町民が自分ごととしてとらえ、具体的に行動していくことが求められます。

そのために、まちづくりへの住民の参画、小さくてもできることからアクションを生み出していくことが大切です。そして、本計画に基づいて着実に実行し、計画を動かしていくことが重要になります。

また、目指す将来像に向けて、成果や課題を協働で検証しながら進めていくことが求められています。

豊富町が目指すまちの将来像

まちづくりの使命 - ミッション

さまざまな社会情勢を踏まえると、時代は、成長期の“つくる”時代から、成熟期における“つなぐ”時代へと変化しています。

人口減少や少子高齢化を背景として、まちやコミュニティの存続をはじめ、産業の担い手、生活に必要なサービスの確保など、さまざまなものを持続させていかなければならない時代では、多様な“つながり”が重要であり、大きなチカラになります。

そこで、本町に暮らす人が安心して心豊かに生活することができるよう、まちづくりの大切な基礎である「人」や「地域」、「産業」などをつなげていくことで、まちの価値を高めながら持続可能なまちづくりを進めます。そして、未来を担う子どもたちにつなげていくことをまちづくりの使命とします。

豊富町のまちづくりの使命

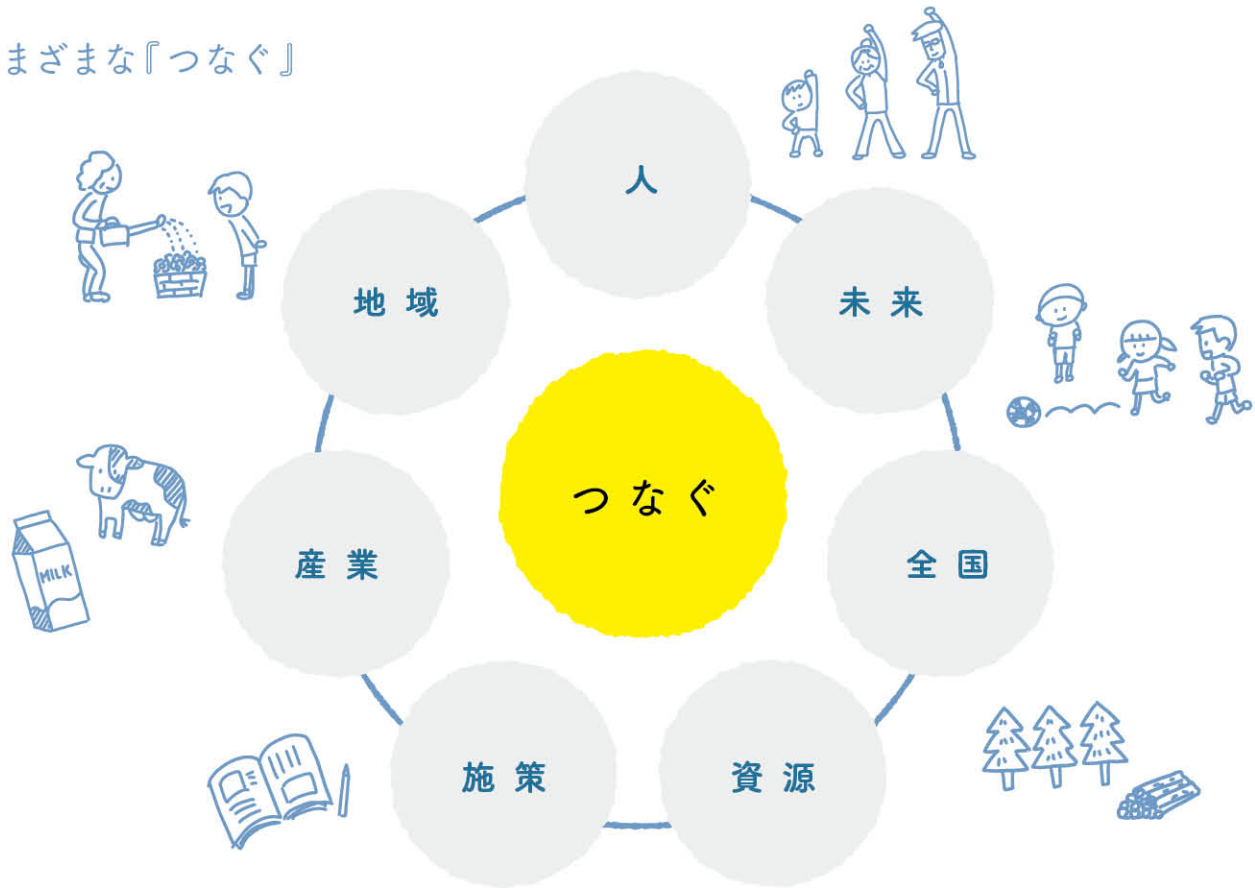
【 TOYOTOMI ミッション 】

つなぐ

人と人、人と地域、人と産業などをつなぐことで、
さまざまなつながりから持続可能なまちづくりを進めます
そして、豊かなまちを次世代につなげます

※まちづくりのミッション:みんなが一丸となってまちづくりを進めていく上で、
町民が心に留めて、思考・行動する際に拠りどころとなる姿勢や理念

さまざまな「つなぐ」



● 人と人をつなぐ

人口減少の時代だからこそ、人と人のつながりを大切に、町民がともに考え、ともに行動する協働の理念のもと、持続可能なまちづくりを進めます。

また、まちで暮らしている人、まちを訪れる人、まちに関わる人などさまざまな人とのつながりを大切にします。

● まちと全国をつなぐ

全国の地域とのつながりを大切にして、ファンやサポーターなどの関係人口から交流や移住促進を進めます。また、地域特有の資源を活用して全国の地域とのつながりを広めます。

● 人と地域をつなぐ

さまざまな分野において、人と地域のつながりや支え合いを通して、安心して暮らすことができる生活基盤を確立します。

また、人と地域をつなぐことで、地域間連携の深化やまちへの愛着醸成を図ります。

● 施策と施策をつなぐ

限られた財源の中で、分野や施策を超えたつながりから相乗効果を生み出すまちづくりを進めます。また、さまざまな施策同士のつながりや関連から地域の課題解決に向けた取組につなげます。

● 人と産業をつなぐ

これまで育ててきた産業や豊かな自然環境に、人がさらにかかわり、支え続けることで、産業間の連携などを進め、まちの新たな価値を創造し、次世代につなげます。

● 今と未来をつなぐ

未来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進め、まちの豊かな暮らしを未来へつなげます。

まちづくりの将来像 -ビジョン

人口減少に歯止めをかけ、人口を維持し、まちに住む人、まちに関わる人を増やしていくためには、住み続けたい・住みたいと思う魅力あるまちづくりを進めていくことが必要です。

住み続けたい・住みたいと思うまちは、そこに暮らす人がまちに誇りと愛着を持ちながら、いきいきと、そして、安心安全で快適に暮らすことができるまちです。また、まちに暮らす人のさまざまな活動が人や地域を支え、地域経済が活性化しているまちでもあります。

そこで、まちの産業を維持し発展させていくとともに、さまざまな資源を活用して『まちの価値』を高め、地域経済を担う町民がいきいきと安心して暮らし続けられる『暮らしの充実』、そして、まちを支える『人づくり』を進めます。

豊富町のまちづくりの将来像

【 TOYOTOMI ビジョン 】

まちの 価値創造

産業の振興に加え、まちのポテンシャルを活かして酪農や豊富温泉、サロベツ湿原などの価値をさらに高めるとともに、まち独自の資源を活用し新たな価値を創造するまちを目指します。

暮らしの 充実

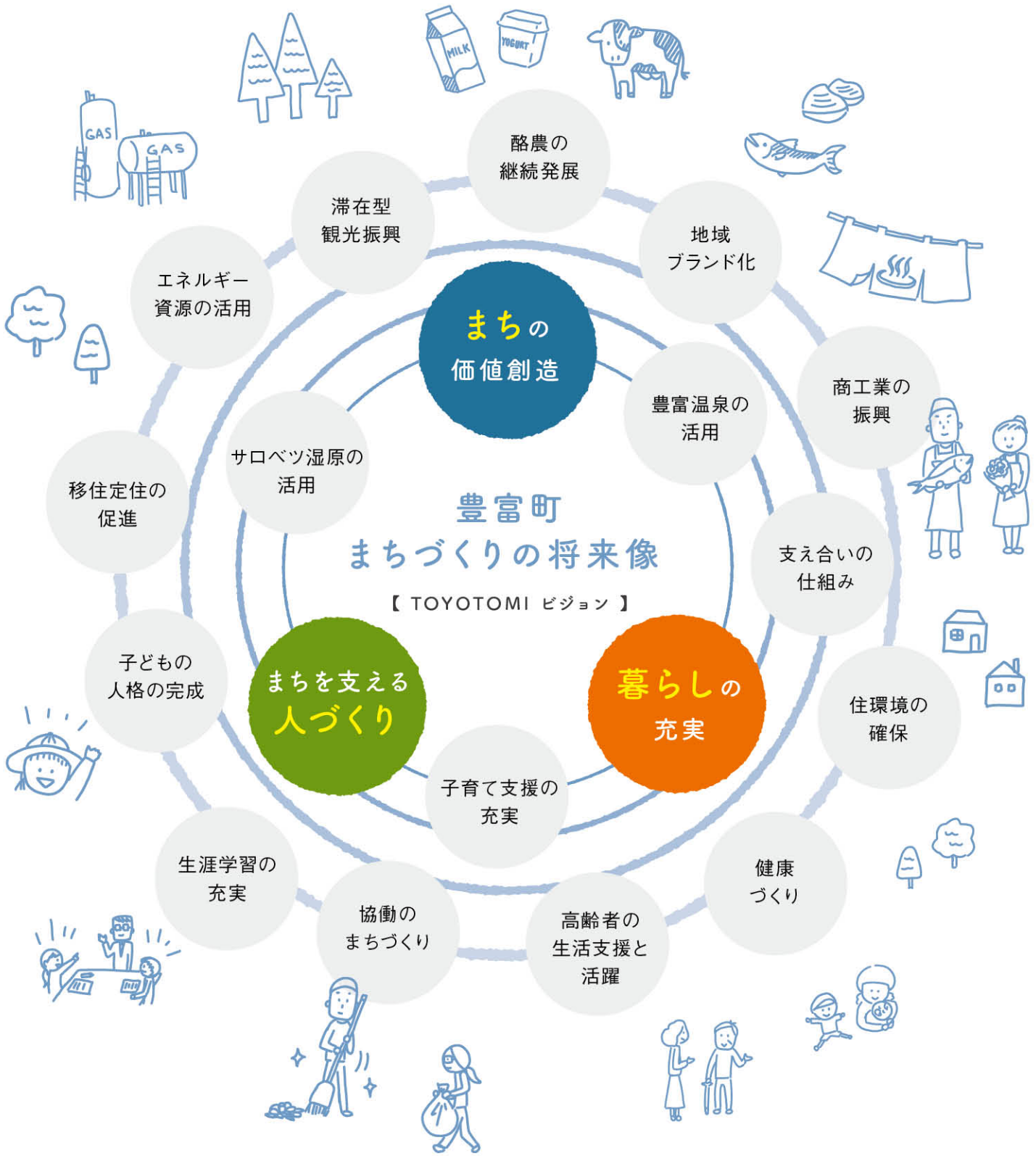
保健・医療・福祉などの充実や地域での支え合いにより、子どもから高齢者までのだれもが健康で安心安全に暮らし続けることができるまちを目指します。

まちを支える 人づくり

子どもたちがまちに誇りを持ち、地域ぐるみで健やかに育つ環境づくりを進めるとともに、町民一人ひとりがいつでも学び、生涯にわたって心豊かに活動できるまちを目指します。

※まちづくりのビジョン:町民がまちづくりを進めていく先に目指す
ゴールとしてのまちの理想の姿、まちのあり方(像)

将来像のイメージ



将来像の実現に向けて 戦略的に取り組むこと

本町がこれから目指す将来像の実現に向けて、解決していくべき課題はたくさんありますが、限られた財源で効果的かつ効率的にまちづくりを進めていくことが必要です。

戦略的な取組を計画的に進めていくため、さまざまある課題のうち将来像の実現に向けて特に重要な課題を整理します。これら以外の課題についても、町民の快適で豊かな暮らしの実現のために、各分野の課題解決に向けて取り組んでいくものとします。

まちの価値創造

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農林水産業 | <ul style="list-style-type: none">・ 地域経済を支える産業の維持と価値向上・ 酪農及び林業、漁業の後継者の確保・ 新たな産業やエネルギー資源への展開 |
| 商工業 | <ul style="list-style-type: none">・ 町民の生活を支える商業の維持・ 空き家、空き店舗の活用促進 |
| 観光・温泉 | <ul style="list-style-type: none">・ 温泉を活用した温泉産業*の展開・ 温泉を基軸にした他分野との連携による新たな価値の創造・ 体験型、滞在型観光の推進・ 温泉及び観光振興に向けた交通の確保 |
| エネルギー | <ul style="list-style-type: none">・ 天然ガス、再生可能エネルギー*の活用の拡大 |
| 自然環境 | <ul style="list-style-type: none">・ 豊かな自然の継続的な保全と維持管理・ サロベツ湿原のワイズユース*(賢明な利用)と情報発信 |

暮らしの充実

| | |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>健康づくり・ 保健・医療</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の主体的な健康づくりの推進 ・ 保健事業や医療に従事する人材の確保 ・ 温泉を活用した健康づくりの推進 ・ 地域包括ケアシステム*の構築 |
| <p>福祉</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉の充実による高齢者の活躍 ・ 地域で支え合う仕組みづくり |
| <p>住まい</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 住み続けるために必要な住宅の確保 ・ 空き家バンク*やリノベーション*などによる活用促進 |
| <p>交通・ インフラ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民の足となる地域交通の仕組みづくり ・ 老朽化した公共施設の計画的な更新と維持管理 |

まちを支える人づくり

| | |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>子育て・教育</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子どもの育ちを支える仕組みづくり ・ 就学前から小中高までの切れ目のない支援 ・ 子どもの学力向上と地域への愛着醸成 ・ 高校の魅力向上につながる取組 |
| <p>コミュニティ・ 交流</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を支える人材の育成と意識醸成 ・ 地域間連携や広域行政の推進 |



まちづくりの基本目標

基本目標

1

既存産業の継続発展と新たな創造的な産業の創出

【 農業/林業/水産業/鉱工業・エネルギー/商業/企業誘致 】

持続可能なまちづくりを進めていく上では、これまで地域経済を支えてきた産業を維持し、さらには発展させていくことが求められます。

しかし、人口減少に伴い、まちの基幹産業である酪農をはじめ、漁業などにおいても後継者不足が深刻な課題となっています。

そのため、酪農を中心とした一次産業において、これまで築き上げてきた産業基盤をもとに時代に対応した仕組みづくりなどを通して、さらなる発展・強化を図ります。

また、天然ガスなどのポテンシャルを有する資源を活用した新しい産業の創出や、町民の生活を支える大切な役割を担う商業活性化、企業誘致などを進めます。

基本目標

2

地域特性を活かした人を呼び込むまちの価値の創造・向上

【 自然環境・サロベツ湿原/温泉産業・観光/移住定住 】

世界に2つしかないともいわれる油分を含んだ温泉、サロベツ湿原を含む優れた自然環境、他では見ることができない美しい風景や景色は、本町特有の資源であり、人を呼び込む力を持っています。

国立公園となっているサロベツ湿原など自然環境の保全はもちろん、その魅力や価値を高め、町内外に発信することで、さらに価値を高めます。

また、豊富温泉だからこそ求めて訪れるその価値をさらに高め、温泉を湯治療養の場だけではなく、温泉産業としてとらえ、観光さらには移住促進につなげていきます。

基本目標

3

暮らしを支える快適な生活環境づくり

【 住環境/道路・交通・情報通信/上水道・下水道/ごみ処理・環境美化 】

本町特有の地形・気象条件のもと、だれもが快適な日常生活を送ることができる生活基盤を確立し、将来にわたって維持できる仕組みづくりを進めます。

また、空き家バンクの活用や住宅のリフォームへの支援などにより、住み続けるために必要な住宅の確保を図るとともに、道路・交通などのインフラの適切な維持管理を進めます。

『つなぐ』のミッションを果たし、
目指す将来像『まちの価値創造 暮らしの充実 まちを支える人づくり』の実現に向けて、
6つの基本目標を掲げます。



基本目標

4

安心安全に暮らし続けることができる仕組みの構築

【保健・医療/地域福祉/高齢者福祉/障がい者(児)福祉/
子ども・子育て/消防・救急/防災・交通安全】

子どもから高齢者まで町民だれもが、本町で安心して安全に暮らし続けることができるように、町民自らの健康づくりを促進するとともに、地域が連携した支え合いの仕組みを構築します。

人口減少の歯止めにもかかわる子育てでは、地域で子どもの育ちを支える仕組みづくりとともに、安心して子育てをすることができる環境づくりを進めます。

また、町民の安全な暮らしを守るため、自然災害への備えや犯罪、事故防止などの取組を地域一体となって進めます。

基本目標

5

まちへの誇りを育む地域と人づくり

【家庭教育/学校教育/生涯学習/スポーツ・文化/コミュニティ】

次代の本町を担う子どもたちへの教育は、まちづくりの根幹になります。進学や就職でまちを離れる子どもも少なくありませんが、Uターン*にもつながるまちへの誇りや愛着を醸成するふるさと教育を推進します。

また、家庭・学校・地域が連携して学校づくりに取り組み、地域とともに学校運営や教育環境の充実を図ります。

少子高齢化や核家族化の進行などにより、地域における町民相互の交流やつながりが希薄化している傾向にあることから、地域連帯意識の高揚を図り、良好な地域コミュニティの形成を図ります。

基本目標

6

効率的・計画的な行財政の運営

【行財政・広域行政/広報・広聴】

まちの限られた財源と人材を有効活用し、健全な行財政を運営します。

特にこれからの時代においては、インフラをはじめとした維持管理が大きな比重を占めていくことが予測されるため、適切な維持管理と計画的な行政運営に努めます。

広域行政としては、連携する市町村のそれぞれの特徴や強みを活かして、相互の発展につながる効果的な取組を進めていきます。



基本目標と体系



| 基本構想 | | | | |
|------------------------------------------------------------------------------|---------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 使命 | 将来像 | 基本目標 | 施策分野 | |
| つなぐ | まちの価値創造 | 基本目標1 既存産業の継続発展と 新たな創造的な産業の創出 | 1 農業 2 林業 3 水産業 4 鉱工業・エネルギー 5 商業 6 企業誘致 | |
| | | 基本目標2 地域特性を活かした人を呼び込む まちの価値の創造・向上 | 7 自然環境・サロベツ湿原 8 温泉産業・観光 9 移住定住 | |
| | 暮らしの充実 | 基本目標3 暮らしを支える 快適な生活環境づくり | 10 住環境 11 道路・交通・情報通信 12 上水道・下水道 13 ごみ処理・環境美化 | |
| | | 基本目標4 安心安全に暮らし続ける ことができる仕組みの構築 | 14 保健・医療 15 地域福祉 16 高齢者福祉 17 障がい者(児)福祉 18 子ども・子育て 19 消防・救急 20 防災・交通安全 | |
| | | | 基本目標5 まちへの誇りを育む 地域と人づくり | 21 家庭教育 22 学校教育 23 生涯学習 24 スポーツ・文化 25 コミュニティ |
| | | | | 基本目標6 効率的・計画的な行財政の運営 |
| 人と人、人と地域、人と産業などをつなぐことで、 さまざまなつながりから持続可能なまちづくりを進めます そして、豊かなまちを次世代につなげます | | | | |



基本計画

基本方針

農業経営基盤の強化／良好な農地環境の維持管理／後継者確保及び育成の仕組みづくり／循環型農業*の推進／酪農と観光の連携促進、ブランド化

計画的な森林環境の保全・育成／木質バイオマスエネルギーの活用への展開／地域木材の活用

つくり育てる漁業の推進と展開／良好な漁業環境の維持管理／水産業の付加価値化

天然ガス・再生可能エネルギーを活用した地域活性化／温泉の安定供給／地下資源を活用した他分野との連携

商店の経営基盤の強化／暮らしを支える生活支援サービス*の展開／町民が商業を支える仕組みづくり

企業誘致の推進／労働環境の整備

自然環境の保全と調和のとれた土地利用／サロベツ湿原の自然再生／サロベツ湿原のワイズユースと情報発信

豊富温泉の活性化／温泉を核とした産業の確立／滞在型観光の推進／広域観光・冬季観光の推進／観光プロモーションの推進

移住促進に係る情報発信／移住を促す受入環境づくり／移住につながる地域への愛着醸成の促進

公営住宅の整備及び維持管理／住み続けられる住環境の形成／空き家等対策及び活用

安全で円滑な道路ネットワークの形成と維持管理／橋梁の長寿命化対策の推進／町民の生活を支える交通機関の確保と充実／情報通信基盤を活用した行政サービスの向上・充実

水源の継続的な確保／計画的・安定的な上水道の供給／計画的・安定的な下水道処理の実施

ごみの適切な処理による衛生的な環境づくり／環境美化活動の推進

健康づくりの推進／保健体制の充実／医療体制の充実

地域福祉活動の充実／支え合いの体制づくり／自立生活を支えるサービスの向上と権利擁護の推進／生きることの包括的な支援の推進

高齢者の健康づくりと介護予防の推進／地域で支え合う仕組みづくり／高齢者の社会参加・生きがいつくりの促進／生活を支援するサービスの充実／介護保険制度の安定的・持続的な運営

地域生活支援体制の充実／権利擁護の推進と暮らしやすい環境づくり／発達への不安・課題や障がいを抱える児に対する支援の充実

子育て支援の充実／保育及び子育て環境の向上／就学前からの切れ目のない児童福祉・教育の推進／関連機関と連携したさまざまな交流機会の創出

消防体制の強化・充実／救急体制の強化

地域防災体制の充実／交通安全対策の強化

各関係団体と連携した学習・相談機会の提供／人材育成と家庭教育支援の充実

期待と信頼による学校づくりの推進／社会で生きる確かな学力、資質・能力の育成／特別支援教育の充実／主体的に考え判断する豊かな心の育成／人生の基盤となる健やかな体の育成／学びを活かす教育環境づくりの推進

地域の良さを活かした学習機会の提供／社会教育関連施設の整備と有効活用／青少年の健全育成と社会参加の推進及び指導者育成

スポーツ・レクリエーションの振興／自主的・創造的な文化活動の支援、推進

地域の特性を活かしたコミュニティ活動の推進／地域活動を支える人材の育成と意識醸成

計画的・効率的な行政運営／健全な財政運営／庁内の連携や職員の資質向上／広域行政の推進

広報活動の充実／広聴活動の充実